

**製品名: PTP $\zeta$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16684**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	250kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PTPRZ1 PTPRZ1; HTPZP2; PTPRZ; PTPRZ2; PTPZ; Receptor-type tyrosine-protein phosphatase zeta;
別名	R-PTP-zeta; Protein-tyrosine phosphatase receptor type Z polypeptide 1; Protein-tyrosine phosphatase receptor type Z polypeptide 2; R-PTP-zeta-2
遺伝子 ID	5803.0
SwissProt ID	P23471
免疫原	抗血清はヒト PTPRZ1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 122-171

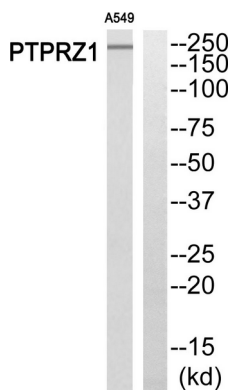
**背景**

この遺伝子は、受容体タンパク質チロシンホスファターゼファミリーのメンバーをコードしています。この遺伝子の発現は中枢神経系 (CNS) に限定されており、CNS における特定の発達過程の調節に関与している可能性があります。この遺伝子については、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2011 年 5 月]、触媒活性: タンパク質チロシンリン酸 + H<sub>2</sub>O = タンパク質チロシン + リン酸。、注意: PubMed:8387522 および PubMed:2170109 では、このタンパク質を RPTase beta と呼んでいます。、機能: CNS における特定の発達過程の調節に関与している可能性があります。、配列注意: 汚染配列。N 末端にベクター配列が混入している可能性があります。、類似性: タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属します。受容体クラス 5 サブファミリー。、類似性: 1 つの α-炭酸脱水酵素ドメインを含む。、類似性: 1 つのフィブロネクチン III 型ドメインを含む。、類似性: 2 つのチロシンタンパク質ホスファターゼドメインを含む。、サブユニット: 炭酸脱水酵素様ドメインはコンタクチンに結合する。、組織特異性: 中枢神経系で特異的に発現し、小脳プルキンエ細胞層、歯状回、および側脳室前角上衣下層に局在する。脳内では発達の的に制御されている。、

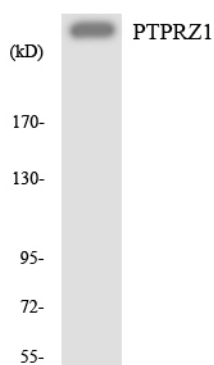
## 研究分野

ヘリコバクター・ピロリ感染における上皮細胞シグナル伝達

## 画像データ

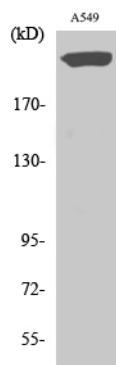
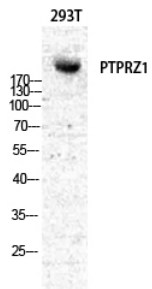


PTPRZ1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンには PTPRZ1 ペプチドでブロッキングされている。



PTPRZ1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

1: 500 に希釈した PTP $\zeta$  ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



PTP $\zeta$  ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析